

汝、吾を助けしが如く、

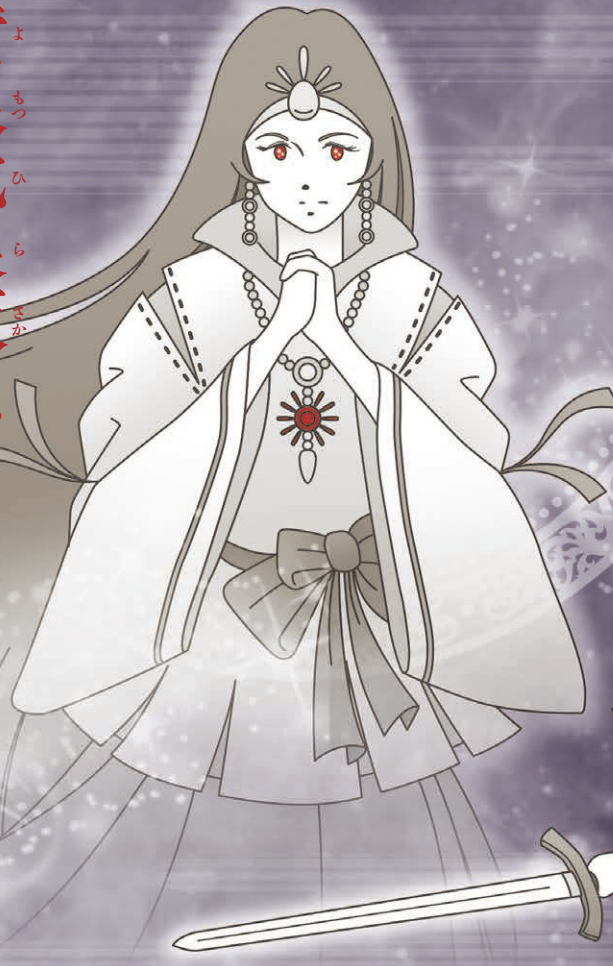
葦原中国に有らゆるうつしき青人草の、

苦しき瀬に落ちて、

患へ惚むどきに助くべし

黄泉比良坂は
時を超えて、ここに
ある。

2013年10月、黄泉比良坂に桃の呪力が復活します。
オハツモモから再生のパワーを感じてください。



参加して
みませんか。

黄泉比良坂からはじまるあなたの物語

黄泉がえりの神話あるき

実施日 2013年10月5日(土)から12月23日(祝)までの
土曜・日曜・祝日

出発時間 10:00・14:30の1日2回 (所要時間は約90分)

集合場所 松江市東出雲まちの駅 (JR山陰本線揖屋駅となり)

参加料 1人 500円

申込先 NPO法人東出雲まちの駅女寅
TEL・FAX0852-52-9311
E-mail:matinoekimetora@gmail.com http://metora.sakura.ne.jp/



特典

ご参加いただいた方には、
神話を感じてもらえる特典があります。

- 1 心と体にパワーを与える
おいしい桃と葡萄のジュース
- 2 イザナキを救った竹の櫛【有料】

- 前日の16:00までにご予約ください。
- 伊賦夜乃姫ガイドが揖夜神社、黄泉比良坂を歩いてご案内します。
- お一人様からでも催行します。

神話を知りたい方は、ホームページをご覧ください ● <http://metora.sakura.ne.jp/>

神秘の呪力に満ちた黄泉比良坂。

古事記には、黄泉比良坂が二度登場します。

一度目は伊耶那伎命いざなぎのみことと伊耶那美命いざなみのみことの神話です。黄泉の国とこの世の境として登場し、千引き石で塞がれた処です。ここで二神が言い交わした呪言によって、人は一日に千人死に、千五百人生まれるようになったのです。

二度目は大国主命おおくにぬしのみことの神話です。根堅洲国ねかたすくにと葦原中国あしはらのなかつくにとの境として登場し、須佐之男命すさのおのみことが大穴牟遲命おおひとくさのみこと（大国主命）を後継者と認めた処です。そこから、大国主命の国造りが始まります。

出雲神話で重要な役割を果たす黄泉比良坂。ここは、神秘の呪力に満ちた再生の物語を生みだす処です。

その坂を越えると…、新しい自分に、あ・え・る。

「神話あるき」の特典はココから

黄泉の国から逃げ還ろうとした伊耶那伎命。頭に着けていた黒蔓の髪飾りを投げると、たちまち山葡萄がなって醜女くろかずらがそれを食っている間に逃げました。さらに追いかけてきたので、今度は髻しこめに差した竹籬の歯を折って投げると、たちまち筍みずらが生えてきて醜女がそれを食っている間に逃げました。すると、黄泉の軍勢が追いかけてきたので、十拳の剣を抜いて後ろ手に振りながら逃げ、黄泉比良坂までたどり着いたとき、そこに生えていた桃の実三個を取って投げると、桃の呪術的魔除けの力を受けて、退散しました。

そこで桃の実に、「汝、吾を助けしが如く、葦原中国あおひとくさに有らゆるうつしき青人草あおひとくさの、苦しき瀬に落ちて、患うれへ惚なやむときに助くべし」と告げ、大きな霊の力という意味の意富加牟豆美命いおおかむずみのみことと名付けました。

●松江市東出雲町へのアクセス



- JR松江駅より電車で揖屋駅まで約10分
- JR米子駅より電車で揖屋駅まで約25分
- 東出雲ICより車で約5分
- 米子鬼太郎空港より車で約30分
- 出雲縁結び空港より車で約30分

